

議会日誌

(平成26年2月1日以降)



2月

- 6日 第1回臨時会
議会改革推進協議会理事会
- 10日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 議員全員協議会
- 24日 総務常任委員会所管事務調査
(豪雪関係)
- 27日 第2回定例会開会
- 28日 総括質疑

3月

- 3日 一般質問
- 4日 一般質問
- 5日 予算審査特別委員会
- 6日 予算審査特別委員会
- 7日 予算審査特別委員会
- 10日 総務常任委員会
- ” 民生文教常任委員会
- ” 産業建設観光常任委員会
- ” 議会改革推進協議会理事会
- 14日 第2回定例会閉会
- ” 議会広報特別委員会
- 17日 産業建設観光常任委員会所管事務調査
(豪雪関係)
- 20日 民生文教常任委員会所管事務調査
(豪雪関係)

4月

- 4日 議会改革推進協議会理事会
- ” 議会改革推進協議会
- 14日 議会広報特別委員会
- 21日 議会広報特別委員会
- 25日 議会改革推進協議会理事会

次回の定例会は

6月6日(金)～6月13日(金)までの予定です。

- | | |
|----------|-----------|
| 6月 6日(金) | 定例会開会 |
| 9日(月) | 一般質問(第1日) |
| 10日(火) | ”(第2日) |
| 11日(水) | 常任委員会 |
| 12日(木) | ” |
| 13日(金) | 定例会閉会 |

議会広報特別委員会	
委員長	松平大三大
副委員長	中山森上場
委員	大場宏雄
キリ	忠美博雄

ここには、食の文化という観点が欠落してしまっているように思える。文化といわれるようになるには、何百年何千年の時間・歴史の積み重ねが必要である。町にも、旧石器時代からの歴史と国指定の史跡や重要文化財、美術館、資料館などがある。私たちは、それらを活かしつつ誇れる文化の町を目指していくものである。

町民の

富岡

大平夏澄さん



お金で買えない 本当に豊かさ

芦野に戻り三年。今、遊行庵直売所組合員の一員として、町づくりチークム・アンノビトのリーダーとして活動しています。

震災前は、東京下町の古民家を再生したカフェで、那須



から直送される母の有機野菜や旬の山菜を使つた料理を提供しながら手づくり教室などを開いていました。お客様は、子供を持つ親、本物志向の女性達、モノ作りの好きな若者達が中心。味だけでなく顔の見える信頼関係が人気の理由でした。芦野は、季節ごとに大きく変化する桃源郷のような里山です。縄文時代から続く歴史。古の道や田園風景。ゆっくりと時間の流れるこの里山を都会に住む仲間達に知つてもらおうと里山ツアーや企画したり、地元の方から教わる伝統的な暮らしを実践

し、ここで体験を、外に広く発信しています。今地域を分断する経済優先の消費社会に対し、里山のエコな暮らしを見直す動きが世界中で広がっています。日本の子供達に回されるツケを少しでも減らすには衣食住エネルギーを地域で少しずつ自給していく事です。今、便利や早さを求める時代から、温かな手を通じて心を伝える時代に入りました。ご先祖様が私達に残してくれた、お金で買えない本当の豊かさを子供達に伝える事が、私達の役目だと感じています。

編集室

一月の大雪は町にも大きな被害をもたらした。近来にない積雪量で建設課を中心にその対応に奮闘していた。町民の多くがボランティアに参加され、その力の大きさは今後の教訓となつた。

四月一日より消費税8%の時代に入った。その増税分全額は、少子高齢化対策の社会福祉対応・充実のために使われるという。これからは、町でも補助金等の監視が重要な役割になってくるであろう。

日本の南極調査捕鯨が話題になつてゐる。国際司法裁判所は、科学的研究の条件を満たしていないなどの理由で調査捕鯨の中止を言い渡した。